

## 閉会のあいさつ

長崎大学工学部

黒田 英夫

長崎大学総合情報処理センターの黒田でございます。本日は皆さんお忙しい所、多数ご来場下さいましてありがとうございました。貴重な御講演を下さいました先生方に、ここで改めてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

長崎といいますと、代表的な産業といたしまして、観光産業それから重工産業という事に代表されるわけですが、長崎は日本の西に位置しております。この位置的な条件は、いろんなところで、問題を抱えるわけでございます。ネットワークを利用する産業、これは時間と距離を克服するものでありまして、ネットワークを利用する情報産業、これこそ長崎がこれから真剣に取り組んでいかなければならないものだと考えております。このような情報産業を長崎で確かなものにするためには、我々学校に身を置くものとしては、人材育成という事が重要であるという風に考えている次第であります。

そういうことで、人材育成という意味で、小学校から大学までの各先生方が手を携えて、子どもたちあるいは学生たちの情報教育に、関わっていったらなあ考える次第です。

このような思いから、本日の「ネットワークが教育を変える」というタイトルで講演会を企画させて頂きました。今回の講演会の企画から準備を、情熱的にすすめてくれました先生方を御紹介させて頂きたいと思います。

まず、長崎大学工学部電気情報工学科、中村千秋先生です。それから長崎大学総合情報処理センターの鶴正人先生です。いろんな準備等で走り回ってくれた先生です。それから長崎大学総合情報処理センターの池永全志先生。それからもうひと方、御講演下さいました、長崎大学教育学部の藤木隆先生。以上の先生方が日夜、夜遅く迄、企画から準備まで势力的にこなしてくれたことを御紹介申し上げます。

さきほど神戸の浅井先生、岡村先生、お二方の先生からも御紹介がありましたが、次に長崎と神戸で遠隔講義の実験を考えております、その時にもまた、何らかの形でお知らせが出来たらと思います。そういうことで、長崎において情報教育を担当されておられます先生方の、情報教育が是非実りあるものになりますことを期待致しまして、私の閉会の挨拶に変えさせて頂きます。本日はどうもありがとうございました。